

くずまき 議会だより

7月定例会議 平成28年8月24日発行
岩手県葛巻町議会

No.175



27年度病院事業会計を認定

新病院の完成を心待ち

2p

施設の老朽化対策計画は 4議員が一般質問

4p

県立高校の存続を要望 ～岩手地区議員大会～

10p

友好の絆を確認 ～かりゆしウェアで議会～

14p

笑顔のつどい ㊟



表紙

カナロア フラ
Kanaloa hula
葛巻教室の皆さん
(関連16P)

進む葛巻病院の改築

新病院の完成を心待ち

27年度の患者数の状況は、年間延べ入院患者数が1万4243人で、前年度に比べて756人、5%減少しました。外来患者数は3万4859人で、前年度に比べて807人、2.4%の増加です。患者数の状況は、下の表のとおりです。

28年度末完成予定の新葛巻病院の改築工事が本格的に始まり、多くの町民が期待を寄せています。新病院の開設を見据え、さらに職員が一丸となって経営に努力することが重要です。



着々と進む新病院の改築工事

7月定例会議

7月定例会議は、7月1日から6日までの6日間の日程で行われました。1日、4日と6日の本会議では、本町の姉妹町村である、沖縄県北中城村との友好の絆を深めるため、「かりゆしウエア」を着用して議事に臨みました。（関連記事14ページ）

町長から提出された議案は、27年度葛巻病院事業会計の決算認定や28年度補正予算など7件、すべて全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。

一般質問では4名の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

27年度患者数の状況

患者数	27年度	26年度	増減		病床利用率 (%)
			人員	率 (%)	
入院	1万4243人	1万4999人	△756人	△5.0	49.9
一般病床 (60床)	9407人	9651人	△244人	△2.5	42.8
介護病床 (18床)	4836人	5348人	△512人	△9.5	73.4
外来	3万4859人	3万4052人	807人	2.4	-
計	4万9102人	4万9051人	51人	0.1	-



町長に決算審査意見書を提出する監査委員

27年度決算は、一般会計からの繰り入れなどで単年度黒字決算となり、累積欠損金が減少しました。引き続き、医業収益の確保と経営基盤の安定化に向けて、財政の健全化を望みます。

個人未収金が減少したことは、職員の努力が認められます。引き続き、個人未収金の解消に向けて、効果的な回収を求めます。

監査委員の意見

決算特別委員会（柴田勇雄委員長、山岸はる美副委員長）を設置し、7月5日に病院事業会計決算を審査しました。主な質疑は次のとおりです。

決算特別委員会

27年度病院事業会計決算状況

区分	27年度	26年度	前年対比
事業収益 (a)	9億1527万円	9億211万円	1.5%
事業費用 (b)	8億7121万円	13億2086万円	△34.0%
純利益 (a)-(b)	4406万円	△4億1875万円	110.5%
年度未累積欠損金	5億8341万円	6億2747万円	△7.0%

27年度決算は、事業収益9億1527万円に対し、事業費用が8億7121万円、純利益を計上し、単年度黒字決算となりました。

27年度
病院会計決算
認定

単年度黒字決算

累積欠損金が減

これにより、累積欠損金が5億8341万円に減少しました。この要因は、病院経営計画に基づいた経営努力の成果と、一般会計から5千万円を繰り入れたことによるものです。決算の状況は、上の表のとおりです。

病院経営では、禁煙外来、睡眠時無呼吸症候群の診療開始や糖尿病教室を開催するなど、医療サービス向上のため、新たな取り組みを始めました。

今後も、医師、看護師、職員が連携しながら、住民ニーズを的確に捉えた取り組みが必要と考えます。

看護師職員充足状況は

葛巻病院
葛巻病院
葛巻病院

問 看護師職員は、不足していませんか。
答 現在は不足していませんが、28年度末で退職する看護師職員を補充するために、町の奨学金制度を周知しながら確保に努めます。

新たに取組む医療サービスは

葛巻病院
葛巻病院

問 新たに取組む、医療サービスは。
答 現在、ペースメーカーの検査ができるように準備を進めています。



たつやなぎ けいいち
辰柳 敬一 議員

問 総合運動公園の活用策は

答 スポーツ・ツーリズムを推進

議員 総合運動公園周辺の整備と、今後の活用策を伺います。

町長 総合運動公園は、スポーツイベントや各種大会の開催など、スポーツによる交流人口の拡大に大きな効果をもたらしています。

施設内の子供広場は、町民の憩いの場として多くの皆さんが利用していますが、当面は、既存遊具の安全管理に努め、将来的な遊具の入れ替えは今後検討します。

昨年、総合運動公園の多目的グラウンドを全天候型陸上競技トラックや人工芝のサッカーコートに改修したところ、各種大会の開催や合宿誘致などにより、利用者数は改修前と比較して、約5千人、59%増加しました。さらには、来町者数と宿泊者も増加しており、スポーツを通じた交流人口

の拡大に大きな成果を挙げています。

10月には、「希望郷いわて国体」が開催され、スポーツ交流を支える町民機運がさらに広がることを期待されるため、国体終了後も、関係団体などと連携に努め、スポーツ・ツーリズムの推進を図ります。

総合運動公園周辺施設のグリーンテージと、スポーツ合宿や各種大会の誘致などで連携する考えです。総合運動公園のリニューアルにより、今後、スポーツ合宿やスポーツ・ツーリズムの推進による利用客の増加が見込まれるため、今年度から浴室などのリニューアル事業に着手します。さらには、交流人口の拡大につながる新たな事業展開を図るために、町では取り組みを支援、強化していく考えです。



人工芝のグラウンドで行われた
青少年健全育成ミニサッカー大会

問 大型風力発電建設の内容は

議員 新たに建設が計画されている、大型風力発電施設の内容は。

町長 町内で建設計画が進められている風力発電事業は、平成15年から上外川高原で稼働している「株式会社ジェイウインド」が運営するグリーンパワーくずまき風力発電所の増設計画です。

出力2000キロワットの風車16基、2100キロワットの風車6基、

合わせて22基を増設する計画で、本年9月の着工、平成31年3月完成予定です。

既設の風車12基と合わせた34基の総出力は6万5600キロワットになり、年間の予想発電量は約13万3000メガワットアワーで、一般家庭の約4万世帯分の発電が可能です。完成後の町へのメリットは、施設設置による固定資産税の増収が見込まれるほか、メンテナンス作業員の雇用創出、観光資源としての交流人口の増加などが見込まれます。

7月4日に、4議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。

問 施設の老朽化対策計画は

答 長期的視点で計画策定

議員 町営住宅、保育園や町道など、町が所有する公共施設全体の、総合的な老朽化対策の推進計画を伺います。

町長 現在、町所有の主な建築物は330物件、うち築後30年経過したものは190物件あり全体の57%です。町営住宅や保育園などの比率が高い状況です。

法改正により昭和56年以後に設計された建築物は、耐震化となつていません。江川中、小屋瀬中、社会体育館は、27年度に耐震補強工事を終えましたが、耐震化となつていない保育園、地区センター、役場などの建築物は経年劣化が著しく、耐震補強より改築が必要な状況です。

今後5年の間に整備後30年を経過する町有建築物が7割を超えるため、公共施設の総合的な管理計画が必要です。

一方、地方公共団体を取り巻く環境は、人口減少などによる社会情勢の変化と厳しい財政事情を背景に、長期的視点に立った「公共施設等総合管理計画」を作成するよう総務大臣から要請がありました。

この計画は、建築物のほか、道路や上下水道施設など、町が所有する全ての施設が対象です。将来の人口推計や中長期的な財政収支見込を的確に把握し、効率的で効果的な配置のあり方、財政負担の軽減と平準化の実現が目的となっています。

町では、現在、町有資産を把握するため「固定資産台帳整備業務」を進めており、これを基に将来的に発生する施設などの更新や維持管理に要する費用の推計や持続可能な町づくりに向けた総合管理計画を策定します。

問 茶屋場田子線連絡道整備は

議員 町道茶屋場田子線と国道281号を結ぶ連絡道の具体的計画と、大橋付近の町道取り付け道路整備について伺います。

茶屋場田子線整備による、葛巻浦子内線の大橋付近の町道整備は、県代行事業の採択に向けて協議中です。道路線形の抜本的な見直しと大橋架け替え位置などを現在検討しています。整備後の茶屋場田子線を利用し、新ルートで国道へアクセスする方が、より安全性や利便性が高く、循環的・回遊的な機能を有する道路交通網の整備確保を検討します。



架け替えが計画されている大橋（浦子内）



あねたい はるじ 姉帯 春治 議員

問 松くい虫の被害防止策は

答 適期適正な除間伐を推進

議員 国や県、町の防除対策は。
町長 比較的被害が少ない地域では、国や県、市町村が連携し、市町村の財政負担が発生しない、防除対策事業を実施して

議員 被害木と疑われる松を
確認した場合は、早急に
情報を提供してください。
議員 山林所有者が対応
できない場合の対策は。
町長 松くい虫の被害対
策は、国が定める「森林

議員 本町では、まだ被害が
確認されていませんが、
近隣の八幡平市、岩手町
での発生を考えると、本
町でも被害が発生する可
能性は、予断を許さない
状況にあると認識してい
ます。

議員 松くい虫の発生を
防ぐための、山林所有者
の取り組みは。
町長 松くい虫の被害は
雪害木や風倒木などの
弱った松が感染しやすい
といわれています。この
ため、定期的な山林巡視
を実施しながら、国の森
林整備事業を活用した適
期、適正な除間伐を実施
して健全な森林を育成し、
町と山林所有者が共に松
くい虫被害の侵入防止に
努めていく考えです。

議員 松くい虫が、葛巻
町で発生する恐れはあり
ますか。
町長 26年度の岩手県内
での松くい虫被害の状況
は3万7142立方メート
ルで、松くい虫の被害区
域は県南部から県北部へ
移行する傾向にあります。
近隣の八幡平市や岩手町
まで被害が拡大し、現在、
県内18の市町村で被害が
確認されています。

議員 松くい虫の発生を
防ぐための、山林所有者
の取り組みは。
町長 松くい虫の被害は
雪害木や風倒木などの
弱った松が感染しやすい
といわれています。この
ため、定期的な山林巡視
を実施しながら、国の森
林整備事業を活用した適
期、適正な除間伐を実施
して健全な森林を育成し、
町と山林所有者が共に松
くい虫被害の侵入防止に
努めていく考えです。



一定の長さに切断した伐採木の積み込み作業

病害虫等防除法」に基づ
いた対策をすることに
なっています。
また、県が策定した「岩
手県松くい虫被害対策推
進大綱」により、毎年
度「松くい虫被害対策実
施方針」を定め、市町村、
関係機関や団体と密に連
携し、被害対策に取り組
んでいます。

山林所有者のみならず、
国や県と市町村が連携し
て取り組む監視体制の強
化や、徹底した駆除対策
を推進することで被害の
拡大が防止されます。
引き続き、県、近隣市
町村や関係団体と連携を
緊密にしながら、巡回パ
トロールなどによる早期
発見に努めるとともに、
適期、適正な除間伐を推
進し、被害の未然防止に
努めます。



やまざき ひろ 山崎 邦廣 議員

問 くずまき型DMOの取り組みは

答 まちづくり協議会を設立

議員 くずまき型DMO
(※)形成促進事業の、基
本的な考え方を伺います。
町長 国では、人口減少
や少子高齢化に直面する
最重要課題の「地方創生」
において、観光を重要な
産業と位置づけ、国内外
の交流人口の拡大による
地域経済の活性化をさら
に推進させるため、昨年
11月に制度を創設しまし
た。

議員 くずまき型DMO
事業の、取り組みの現状
を伺います。
町長 DMO事業を推進
するため、町民、民間企
業、行政などが一体と
なって合意形成や戦略の
策定を行う「まちづくり
協議会」の設立準備を進
めています。
そのほか、観光動態
データの収集と分析、観
光振興や町づくり人材育
成など、具体的な事業の
準備も並行して進めてい
ます。

議員 くずまき型DMO
事業と、地域との連携に
ついて伺います。
町長 地域自ら観光客を
呼び込める力を備えるた
め、設立準備を進めてい
る「まちづくり協議会」
を町民、行政、観光関連
事業者などの多様な関係
者で構成し連携を図るこ
とが、本事業を成功させ
る重要なポイントの一つ
と考えています。
この協議会を中心に全
町的な合意形成と戦略策
定を行い、誘客や人材育
成の専門的なノウハウを

持った民間企業などと連
携し、効果的な事業実施
を中心に地域経済の活性
化を推進します。
協議会内には、若者主
体の事業検討会を課題ご
とに設置し、多様な角度
から検討を進めます。
(※) DMO
地域住民が観光産業
や行政と連携し、地域
自らが誘客事業を行う
着地型観光の組織や人
材

日本版DMOは、多様
な関係者と共同しながら、
明確なコンセプトに基づ
いた観光地域づくりを实
現するための戦略を策定
し、この戦略を実施する
ための調整機能を備えた
法人を育成することを目
的としています。
本町でも、町民、民間
企業、行政などがさらに
連携を行い、地域が主体
となった着地型観光の土
台となる組織体を形成し、
町の観光資源を活用した

戦略的で一体的な誘客
事業や人材・起業家育成、
情報発信などを行います。
その上で、町独自の取
り組みとして、交流人口
の拡大による地域経済の
活性化と雇用創出を図り、
住民の流出減少、町外か
らの移住促進につなげる
ことを基本的な考えとし
て取り組みます。

この協議会を中心に全
町的な合意形成と戦略策
定を行い、誘客や人材育
成の専門的なノウハウを

持った民間企業などと連
携し、効果的な事業実施
を中心に地域経済の活性
化を推進します。
協議会内には、若者主
体の事業検討会を課題ご
とに設置し、多様な角度
から検討を進めます。



大勢の人でにぎわう、まちなか新緑まつり(葛巻駅構内)

葛葉荘の改築が始まる



造成工事を終えた葛葉荘の建設地（内田子地区）

7月定例会議で、葛葉荘整備工事の請負契約や28年度補正予算などの審議が行われました。
主な内容は次のとおりです。

28年度補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	6億386万円	75億10万円

《主な予算の使いみち》

- 高齢者の見守り支援システム構築実証事業…………… 2968万円
- くずまき型観光産業若者雇用創出事業…………… 1934万円
- 自治総合センターコミュニティ助成金…………… 500万円
・小田部落会（イス、テーブル、テント）
・江刈自治振興会（イス、テーブル、音響設備）
- 社会体育館柔剣道室の畳を更新…………… 440万円
- 国体に向けた運動公園臨時駐車場取り付け道路整備…… 220万円

高齢者の見守り支援 実証事業で動き出す

補正予算

一般会計に6億386万円追加し、総額を75億10万円としました。支出では、公共施設等整備基金に5億円を積み立て、基金（貯金）総額は、51億6万円になります。補正額と主な予算の使いみちは、左の表のとおりです。

議員の判断〈議決結果〉

○ 7月定例会議で、議員の判断で決定した議案（賛否が分かれた議案はありませんでした）

議案等番号	議員名 件名と主な内容	議決結果	議員名										
			畑福弘	山崎邦廣	大平守	柴田勇雄	鈴木満	姉帯春治	山岸はる美	辰柳敬一	高宮一明	中崎和久	
承認1号	町税条例の改正…消費税率10%引き上げ時に、自動車取得税（県税）を廃止し、新たに軽自動車税に環境性能割を加える改正など	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案26号	平成28年度葛巻町一般会計補正予算（第1号）…6億386万円を追加して予算総額75億10万円に	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案27号	岩手県市町村総合事務組合規約の変更…岩手北部環境組合の解散による数の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案28号	養護老人ホーム葛葉荘整備工事の請負契約の締結…請負者：東野建設工業(株)【盛岡市】 契約金額：8億28万円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案29号	財産の取得に関し議決を求めること…第6分団小型動力ポンプ積載車を更新	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案30号	人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めること…上小路隆男さん（田代）を推薦（新任）することに同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定1号	平成27年度病院事業会計決算の認定…27年度葛巻病院事業会計決算を認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙 ・選挙管理委員：越田博さん（江刈川） 柳澤和夫さん（上田野） 八幡忍さん（田子） 五十地幸子さん（田代） ・選挙管理委員補充員：下道喜美男さん（小苗代） 折元喜代子さん（遠矢場） 土谷和弘さん（元木） 樋ノ口浩静さん（小田）												

※ ○は原案に賛成。
※ 議長は採決に加わりません。

請負契約

- 養護老人ホーム葛葉荘整備工事
- ◇ 契約額 8億28万円
- ◇ 工期 29年3月21日
- ◇ 契約相手 東野建設工業(株)【盛岡市】

人事案件

- 人権擁護委員
上小路隆男さん（田代）を推薦（新任）することに同意しました。
- 任期は、31年9月30日まで。

条例改正

- 町税条例の改正
消費税率10%引き上げ時に、自動車取得税（県税）を廃止して、軽自動車税に燃費性能に応じて環境負荷の小さい車の税率を軽減する、「環境性能割」を新たに加える改正など。

財産取得

- 小型動力消防ポンプ積載車（第6分団）
- ◇ 契約額 1264万円
- ◇ 納期 29年2月28日
- ◇ 契約相手 互光商事(株)【矢巾町】

その他

- 岩手県市町村事務組合規約の変更
岩手北部広域環境組合の解散による数の変更。

【主な質疑】

公共施設基金
管理の考えは
総務企画

公共施設等整備基金
を、管理する上での考え方は。
答 公共施設の新設や老朽化による改修の際に、補助金や起債に該当しない町の持ち出し分の財源に対して、基金を充てる考えです。

高齢者の見守り実証事業内容は
総務企画

問 高齢者の見守り支援実証事業の内容は。
答 ケーブルテレビとマイナンバーカードの機能を利用して、高齢者の見守り支援を行うシステムの構築に向けた実証を、国の事業を活用して行います。50世帯を対象に行う計画です。

岩手地区で共通課題の解決へ

県立高等学校の存続 1学年2学級の継続など

岩手地区議会議長会（佐藤弘吉会長（岩手町議会議長））主催による、第63回岩手地区議会議員大会が、7月28日に滝沢市ふるさと交流館で開催されました。地区内の議会議員、来賓に地区内の県議会議員と市町長ら約90人が参加し、さらなる地域の発展を相互に確認し親交を深めました。



大会決議を行う中崎議長（左側）と議長団を務める鈴木議員（右側）

要望の内容（要約）

1. 広域的な観点からの道路整備の早期実現
2. 地域振興の観点からの道路の整備促進
3. 県立高等学校の存続（1学年2学級の継続など）
4. 魅力ある農業農村を復活させる農業振興策の推進
5. 100年先の山村を見据えた林業振興策の推進
6. 農業農村整備にかかる財源確保
7. 公立学校施設費国庫負担金（建築単価）の見直し

共通課題を議決

この大会は、滝沢市、葛巻町、岩手町、雫石町で構成する市町議会が、共通する地区の課題解決に向けて互いに協力するために、毎年開催しています。

大会では、道路整備など契機の課題7項目を、各市町の議会議員がそれぞれ提案。本町からは、山崎邦廣議員が「県立高等学校の存続」について特色ある学校経営に配慮し、1学年2学級を継続するなど、均衡ある高等教育を確保できるような提案しました。

満場一致で承認された7項目は、8月に県議会と県内の関係機関に対して要望活動を行います。10月には、岩手県選出の国会議員や国の関係機関に対して要望を行う予定です。

要望の主な内容は、左の表のとおりです。



提案説明する山崎議員

交流拠点複合施設を視察 ～ビッグルーフ滝沢～

滝沢市が建設を進めている、交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」を視察しました。

滝沢市役所前の3.7ヘクタールの敷地に、約6000平方メートルの建物を建設中です。事業費約45億円、岩手山の稜線をイメージした、特徴的なデザインの大型屋根が印象的です。

施設内には、イベントホール、図書館、特産品の販売コーナーやレストランなどを整備。施設の配色は、「チャグチャグ馬コ」から着想したものです。

本町でも、公共施設などの集約を検討しているため、今後の施設整備の参考となる視察内容でした。



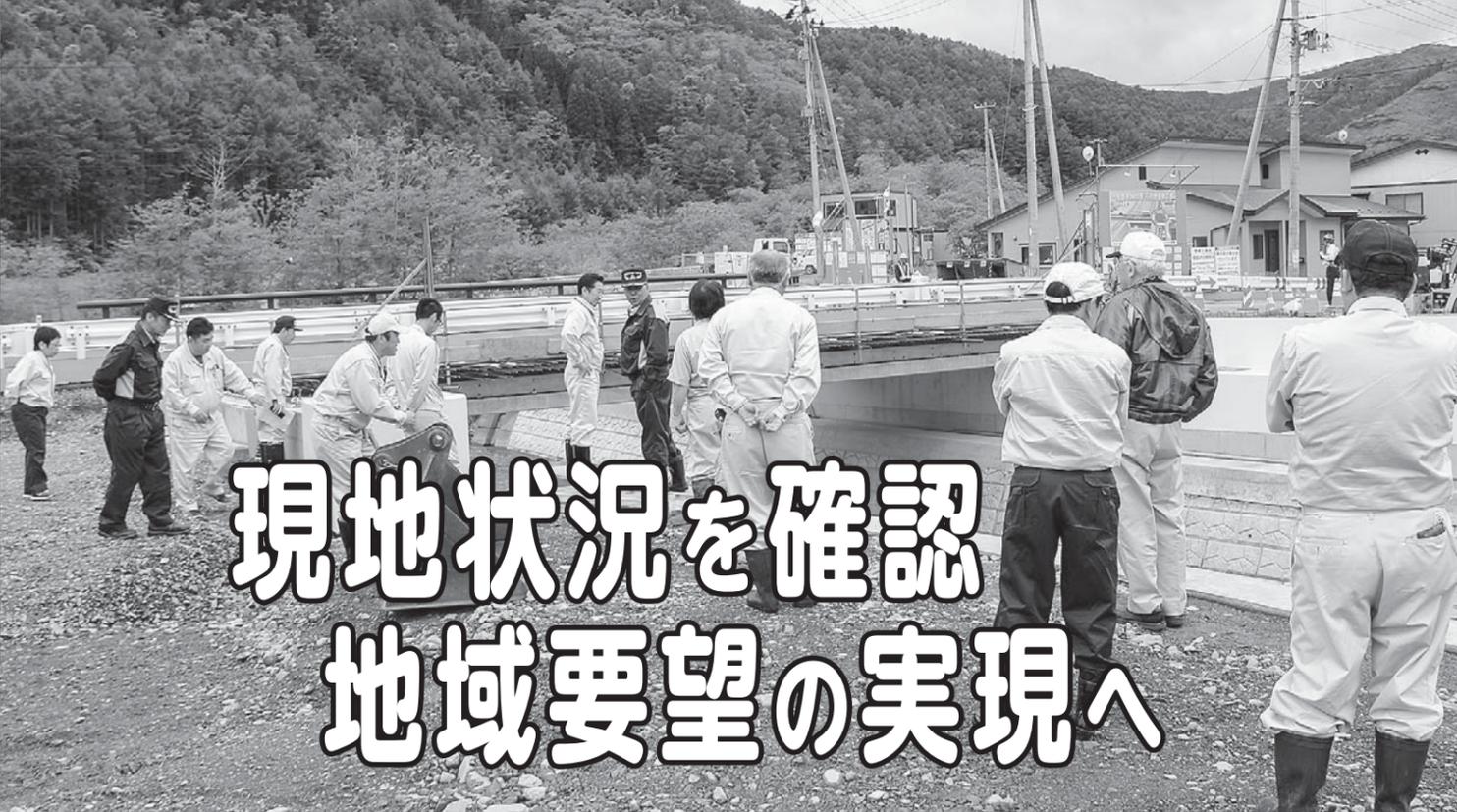
建設中の施設を視察する議員ら



① 林道案内沢線の法面の崩落箇所
 ② 補修工を終えた青刈橋（一戸町境）
 ③ 耐震補強工事で筋かいを設置（小屋瀬小学校）



①



元町橋の架け替え工事の状況を確認する議員ら

現地状況を確認 地域要望の実現へ

ハード事業を集中調査

「輝くふるさと常任委員会」所管事務調査

輝くふるさと常任委員会は6月1日と2日、27年度に完了した事業と28年度に実施する工事箇所などの調査のため、町内を視察しました。

2日目は、県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター（矢内泉所長）と「県営工事の情報交換会」を開催。鈴木町長、觸澤副町長も出席し、県の道路整備事業などについて意見を交わしました。

3月の定例会議で町道に認定した「町道江刈農村センター線」の状況を視察。道路幅が狭く舗装されていないため「道路機能を十分に発揮するため、路面舗装などの改良が必要」との意見がありました。

工事実績と進行の状況

本年の調査では、町道茶屋場田子線の改良整備事業、葛巻病院や江刈小学校の改築など、大型のハード事業を中心に調査しました。そのほか、町有林の管理状況などを確認しました。

① 日目は、町中心部と江刈方面を調査。町道茶屋場田子線の整備によって、浦子内地区の大橋の架け替えを計画していると説明を受けました。付近の倉船地区は、以前に土器が発掘された場所で、工事を始める前に現地を確認するよう町に求めました。



町道認定した町道江刈農村センター線（小苗代）

②

日目は、田部、小屋瀬方面を調査。冬部地区の根地戸と土谷川地区の水尻の町有林2カ所の状況を確認。「伐採の適期に達している立木の状態を確認し、今後の活用方法の検討が必要」との意見が出ました。小屋瀬地区の荒谷橋の入り口部分が狭いため、大型車両の通行が不便な状況を確認しました。以前、地区から改良の要望があった箇所のため、改善策を検討するよう町に伝えました。

左の表のとおりです。なお、茶屋場地区の元町橋の架け替えなどの改良工事は、いわて国体開催までに完成するとの説明がありました。今後も、県と町が情報共有と連携に努め、安全で快適な環境整備を進めて行くことを確認しました。

県の発注工事 本年度計画は

2日目の調査終了後、町長と副町長も出席して、県との情報交換会を開催しました。

冒頭、県の担当者が、今年度を実施する事業内容を説明。本町で計画さ

28年度県事業の内容

(28年5月末現在の計画)

種別	工事の内容	工事年度
道路事業	四日市地区の道路改良工事（L=320m）	25～28年度
	城内小路地区の急カーブ解消の検討	28年度
	茶屋場田子線への助言	28年度
砂防事業	又ナヤ沢（平船）砂防事業（ダム1基）	24～30年度
	市部内の沢砂防事業（ダム2基）	21～30年度
	馬淵の沢砂防事業（ダム1基）	21～28年度

《議会から町へ》

公共施設が、今後一斉に更新時期を迎えるため、公共施設の効率的な配置や有効活用の検討が必要と感じました。

本年度、町が進める公共施設等の総合管理計画の策定に当たっては、将来人口の見通しや町の将来ビジョンを見据えて、町と町民が一体となって計画策定を進めてください。



県との情報交換会の様子（プラトール）

友好の「絆」と「連携」を確認



友好市町の南あわじ市



姉妹町村の北中城村

その後、葛巻高原加工株式会社に移動し、山ぶどうの栽培やワイン製造の一連の工程などを研修しました。

その後、葛巻高原加工株式会社に移動し、山ぶどうの栽培やワイン製造の一連の工程などを研修しました。

11日は、昨年度改修した総合運動公園を視察。南あわじ市では、サッカー競技などを行える運動場を整備したい声があり、補助金などを活用して工事を抑えた工事内容の説明に関心を示していました。

両市町間の絆を葛巻の地で確認

6月下旬には、北中城村から、町三役と議員全員に、かりゆしウエアが

7月定例会議初日の1日と、一般質問を行った4日、最終日の6日の3日間、全議員と鈴木町長ほか当局職員が、「かりゆしウエア」を着用して議会に臨みました。白や紺、花柄など色とりどりの姿で、議場は華やかな雰囲気になりました。

町は、平成元年に沖繩県北中城村と姉妹町村を結び、職員間の交流や中学生の文化交流、スポーツや物産の交流などを行ってきました。

議会でのかりゆしウエアの着用は、北中城村との友好の絆を深めようと中崎議長が提案し、議員と町長から賛同を得て実現しました。

かりゆしで議会 議場が華やかに



森のこだま館（上）、畜産バイオマス発電施設（下）を視察する南あわじ市議会の皆さん

同日の夜には、町議会主催の歓迎会がグリーンテージで行われ、議員のほか鈴木町長や町の関係者が参加。中崎議長は、「物産交流を通じて、お互いの市町の発展につなげるために、友好の契りを深めていきましょう」と歓迎し、鈴木町長も「昨年は南あわじ市合併10周年記念式典に出席し、さらに親戚の縁が深くなったと感じます」と歓迎しました。

翌日は、町の酪農やぐまき高原牧場の取り組みを視察。「新葛巻型酪農構想」やくまき高原牧場の6次産業化の取り組みを研修しました。南あわじ市はタマネギの生産で有名ですが、高品質の「淡路ビーフ」が全国ブランドに成長するなど、畜産業も盛んです。2日間の研修を終え、今後も様々な場面で交流を続けていくことを約束しました。

贈呈されました。このかりゆしウエアは、北中城村議会の比嘉義彦議長が、一人ひとりに似合う色とデザインを選んだものです。とてもすてきなプレゼントをいただき、北中城村の思いに感謝しています。議会では、9月定例会議でも着用したいと考えています。

3年後には、盟約締結から30年の節目を迎えることとなります。議会では、これまで視察研修などを通じて、北中城村との交流を深めてきました。今後この縁を大切に、両町村の発展のために、様々な場面で交流を深めていきます。



かりゆしウエアで議会に臨んだ、町長、議員ら

くずまきの笑顔

町に貢献できる自分へ

里見 しゅうたろう さん
(西里)



成人式を迎えられて、親と家族、お世話になった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これまで支えてもらった分を恩返しするため、町に貢献できる大人になれるように頑張ります。

気遣いができる大人に

遠藤 のぞみ さん
(田代)



成人を迎えることができ、お世話になった方々、本当にありがとうございました。まだまだ頼りないと自覚していますが、自分らしく何事にも前向きに一生懸命に取り組み、自分のことだけでなく周囲の人にも気遣うことができる大人になりたいです。

地元の役に立ちたい

田村 ゆか さん
(浦子内)



成人式を迎えることができ、母と兄には、とても感謝しています。久しぶりに地元の友達にも会えてうれしい気持ちでいっぱいです。

今後の目標は、家族に恩返しすることと、少しでも地元の役に立てる人になることです。ゆくゆくは結婚をして、母に孫を見せてあげたいです。

将来は町内に就職

土谷 ひかる さん
(元木)



無事に成人式を迎えられたことを、両親に感謝しています。現在は大学で、地域課題などの勉強をしています。卒業後は葛巻町に戻り、地元就職して地域に貢献したいと考えています。



イベントでフラダンスを披露するkanaloea hulaの皆さん

表紙 (Kanaloa hula葛巻教室の皆さん)

Kanaloa hula葛巻教室の皆さんは、幼児から大人の10人メンバーで、八幡平市でフラダンススクールを開講している講師を招いて、月に2回レッスンを行っています。

活動を始めてから6年目を迎え、町内のイベントやお祝いの席では華やかな衣裳で優雅に踊り、会場を盛り上げています。

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

4月	47,000円	(葛巻高校転入職員歓迎会ほか)
5月	59,500円	(葛巻町商工会通常総会ほか)
6月	15,731円	(自衛隊岩手駐屯地創立59周年記念行事ほか)

次の定例会議は**9月2日(金)**です。

7月定例会議は「かりゆしウエア」着用での会議でした。友好町村の北中城村との友好の絆を深めようと着用して臨んだ議会は、華やかな雰囲気となりました。

北中城村とは1989年に姉妹町村を結んでいますが、かりゆしウエア着用の議会を通じ、さらに友好が深まったと思います。

暑さが続くようです。町民の皆様のご健勝をお祈りします。

広報常任委員会
委員 山崎 邦廣

編集後記